

つうので持ってだんだパーとぶん投げだっけが、ちようど鳥さ^{あだ}当^あつて鳥死^{あだ}んちまつただど。

「この野郎、おれの飯^{まんま}なんぼでも食^まつてっから、この野郎う」

なんて言^ゆつて、焼^やいで食^まつちまつただど。

食^まつちまつて家^{うち}つあ帰^かつてきて、風呂入^{ふろ}つかなあど思^{おも}つて裸^{はだか}ん^なつてへそんどご見^みだっけが、へそんどごさ毛^けが一本生^おいだど。

「あら、何^{なん}でこれこんなどごさ毛^けが生^おいでおつかしなあ」

なんて抜^ぬぐべと思^{おも}つて、プーツと引^ひつ張^はつたっけが、

「チンチンカラカラ、ショーツショーツ」

つて鳴^なぐだど。

「あららら、何^{なん}だこれおつかしな」

まだ引^ひつ張^はつたっけ、